

コンピュータチェック事例コード

48IY00X204000_2329021F1

コンピュータチェック内容

レバミピド錠 100mg が医薬品添付文書に記載された最大投与量を超えて算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

医薬品添付文書の用法・用量より、「〈胃潰瘍〉通常、成人には1回1錠（レバミピドとして100mg）を1日3回、朝、夕及び就寝前に経口投与する。〈下記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期〉通常、成人には1回1錠（レバミピドとして100mg）を1日3回経口投与する。」と示されております。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 63.14%
- 検証対象都道府県 47

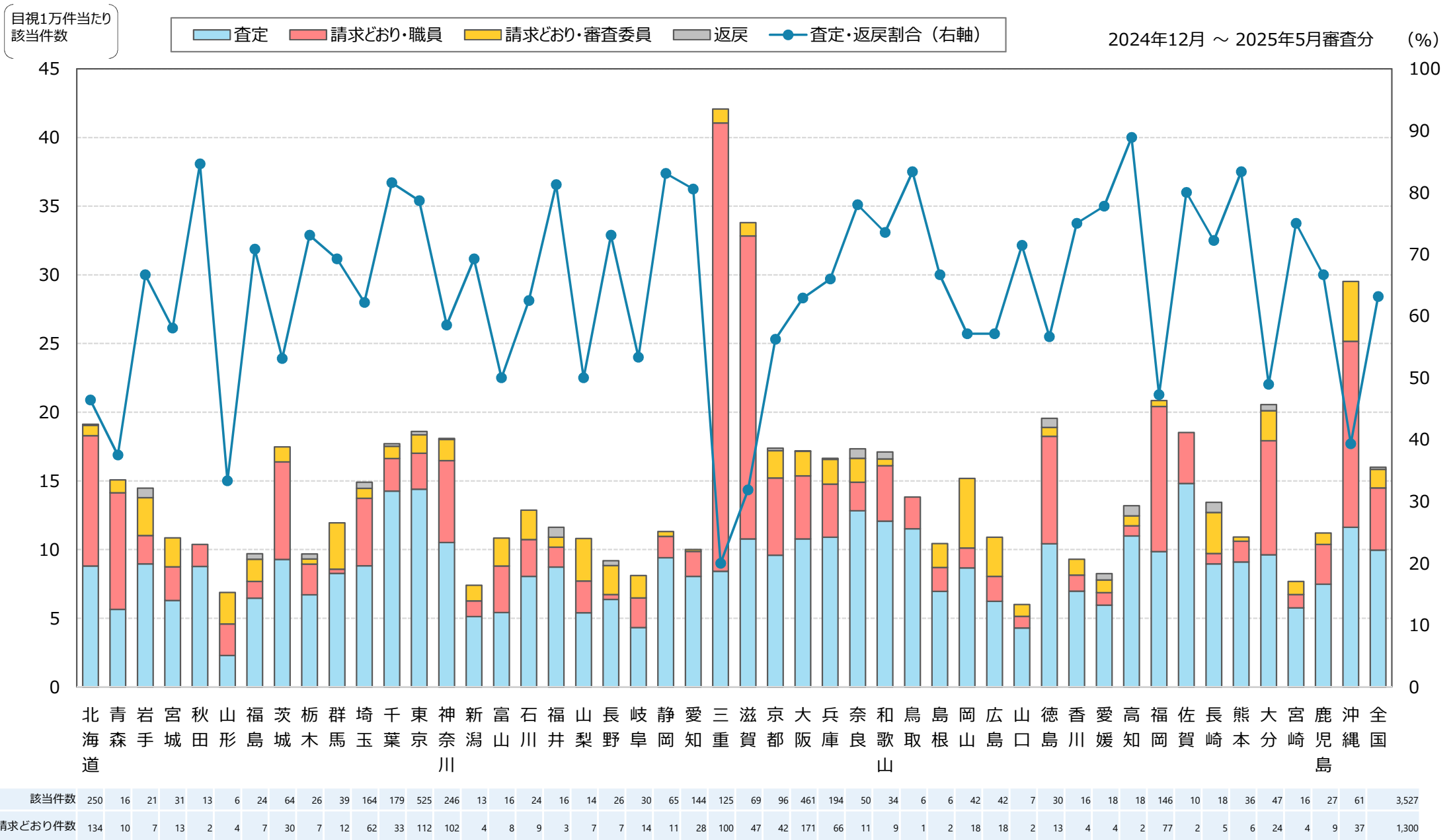
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	三重、滋賀、山形、青森、沖縄、北海道、福岡、大分、富山、山梨、茨城、岐阜、京都、徳島、岡山、広島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	三重、滋賀、沖縄、福岡、北海道、青森、大分、徳島、茨城、神奈川、京都、埼玉、大阪、和歌山、兵庫、佐賀	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岡山、沖縄、群馬、山梨、長崎、広島、岩手、山形、大分、石川、長野、宮城、富山、京都、兵庫、大阪	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	3,527件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,227件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,300件

コンピュータチェック対象:レバミピド錠100mg（医薬品）

医科



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数